

権利擁護研修（第2回）を開催しました！

7月30日（木）に権利擁護研修を開催しました。前回（H26年4月15日）は新入職員を対象として開催しましたが、今回は一般職員が対象で、15名が参加しました。

「高齢者虐待の実態と背景」「高齢者虐待防止法の概要と関係機関の取組み」という複雑で非常に難しいテーマでしたが、参加者が皆、真剣な眼差しで講師の説明を聞き、意見を述べ、白熱した研修でした。



高齢者虐待は、どの家庭にも、どの施設・事業所にも起こる可能性があります。そして、その背景には、家庭であれば家族の歴史や経済的な問題、社会的孤立などの要因があり、施設・事業所においては、職場環境や組織体制などの法人の在り方に大きな要因があります。在宅でも施設・事業所でも、介護される側も介護する側も、そばで支える人、相談できる人が必要です。誰も一人では生きてはいけません。『お互い様』『おかげ様』なのです。

今後も定期的に権利擁護研修を開催することで、一人でも多くの職員が参加することで、この複雑で非常に難しいテーマについて、みんなで学んでいきたいと思えます。

その他、最近、参加をさせていただいた外部研修を紹介します！

[外部研修]

7月24日～7月25日 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会三重大会

テーマ：「地域包括ケア推進と老人福祉施設の実践」

～地域住民の日常生活を支える福祉サービスを考える～

場所：四日市市文化会館、四日市市都ホテル 他

毎年、東海北陸地方のいずれかの県で開催される参加者1,000名以上にも及ぶ大規模な大会で、英水苑からも桜英水苑2名、日永英水苑4名、本部事務局1名が参加しました。2日間、刺激に溢れた時間を過ごさせていただき、貴重な自己研鑽の場となりました。

